

令和2年度地方創生関連交付金 活用事業一覧

資料2

事業名	交付金の型	事業 開始年度	事業 実施期間	事業 最終年度	KPI 目標年度	検証会議で の検証期間	令和2年度 検証の有無	担当課	備考
くらしの和づくり・仕事づくり応援事業	推進交付金	H30	3年	R2	R2	R3会議まで		農政課	
阿蘇・竹田ブランド観光地域づくり推進事業	推進交付金	R1	3年	R3	R5	R4会議まで		商工観光課	
“日本最強の城”『岡城』10万人プロジェクト	推進交付金	R1	3年	R3	R5	R4会議まで		商工観光課	
地域資源(温泉・自然環境など)を組み合わせた健康療養地利活用推進事業	推進交付金	R1	3年	R3	R5	R4会議まで		商工観光課	

地方創生交付金関係個別実績表

【広域】地方創生推進交付金(H30・H31・R2)

No.	事業名	くらしの和づくり・仕事づくり応援事業				所管課	農政課
事業実施期間		着手	平成 30 年 8 月	～	終了	令和 3 年 3 月	
事業の概要(目的)							
<p>広域営農システムの構築・運営支援</p> <p>地域農業を守る組織としてサポート機構を設立し、経営体の組織連携強化を促進、中核的農業者及び営農組織等の育成・支援となる担い手対策や都市部からリタイア後の人材の農業収穫体験等により、農業者の労力を補完するとともに、地域主幹品目の維持・拡大や新規品目の育成を図り、もって農業所得の向上と生活の安定、さらには地域農業の振興、農地の保全を将来にわたってサポートできる体制の整備を図る。</p>							
継続または新規事業の別		継続		R2年度実績額(単位:円)		9,432,663円	
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目標値					
		事業開始前 (基準年: H29年度)	平成30年度増加分 (1年目)	平成31年度増加分 (2年目)	平成32年度増加分 (3年目)	平成33年度増加分 (4年目)	平成34年度増加分 (5年目)
KPI	新規就農者数	27	25	25	25		75
KPI	人材バンクの登録者数	0	10	20	30		60
KPI	担い手不在集落数	115	100	90	80		270
KPI							
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実績値					
KPI	新規就農者数		27	33	26		86
KPI	人材バンクの登録者数		11	19	149		179
KPI	担い手不在集落数		99	72	71		242
KPI							
R2年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)							
<p>竹田市地域農業経営サポート機構の育成</p> <p>「農業サポート人材バンク」の管理・運営。</p> <p>【経費内訳】 人件費、事務所運営費、広告宣伝費等 計3,406千円(国1,135千円/市2,271千円)</p> <p>… サポートバンクの仕組みと流れ …</p>							
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)							
地方創生への効果	地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)						
今後の事業展開方針	事業の継続(計画どおりに事業を継続する)						
上記の理由や特記事項	<p>農林業サポート人材バンクについては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「農業サポーター活用支援事業」を実施した結果、慢性的な人手不足を解消する手段の一つとして、多くの農業者に認知された。</p> <p>今後は、集落営農組織や法人、大規模農家との連携を強化し、担い手不在集落の解消を図るとともに、新規就農者の就農および新規参入企業の参入候補地として準備するため、詳細な情報収集を行う。</p>						

地方創生交付金関係個別実績表

[広域] 地方創生推進交付金 (H31・R2)

No.	事業名	阿蘇・竹田ブランド観光地域づくり推進事業				所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	平成 31 年 4 月	～	終了	令和 4 年 3 月		
事業の概要(目的)								
県境に広がる熊本県阿蘇市と大分県竹田市において、地形及び歴史的に共通の特性を活かし、公共交通機関を利用した観光連携の仕組みづくりを構築しながら、九州中央におけるデスティネーションの位置を確立する。特に平成28年の熊本地震によって被災したJR豊肥本線の復旧後を見据えて、官民協働により、同線の利用促進及び地域間交流による地域活性化に寄与することを目的とする。								
継続または新規事業の別		継続		R2年度実績額(単位:円)		12,183,043円		
本事業における重要業績評価指標(KPI)		目標値						
		事業開始前 (基準年: H30年度)	平成31年度増加分 (1年目)	平成32年度増加分 (2年目)	平成33年度増加分 (3年目)	平成34年度増加分 (4年目)	平成35年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	外国人宿泊客数	194,886	5,000	10,000	20,000	10,000	10,000	55,000
KPI	外国人対応可能施設数	10	10	10	10	10	10	50
KPI	外国人向け滞在プログラム数	0	0	4	4	4	4	16
KPI	国内宿泊客数(R3追加)	666,086	-2,612	-279,474	116,000	150,000	150,000	133,914
本事業における重要業績評価指標(KPI)		実績値						
KPI	外国人宿泊客数		-27,334	-151,452				-178786
KPI	外国人対応可能施設数		15	10				25
KPI	外国人向け滞在プログラム数		0	15				15
KPI	国内宿泊客数(R3追加)		-2,612	-326,704				-329316
R2年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
1. ネットワークの構築・推進 2,996,500円(竹田市負担額1,498,250円) ・JR九州連携スイッチオン!ポスター作成業務委託 1,000,000円 ・観光地域づくりワークショップ業務委託 1,336,500円 ・戦略的マーケティング調査業務委託 660,000円 2. 新たな滞在プログラムの開発 7,989,400円(竹田市負担額3,994,700円) ・スイッチオン!旅行商品開発業務委託 1,000,000円 ・着地型プログラム開発等業務委託 6,989,400円 3. 地域公共交通の利用促進 4,967,359円(竹田市負担額2,985,093円) ・久住周遊バス実証運行业務委託 1,000,000円 ・阿蘇ウォーキングバイシクル導入実証業務委託 1,982,266円 ・竹田グリーンスローモビリティ導入実証業務委託 1,985,093円 4. 国内外旅行者の受け入れ態勢の整備 2,475,000円(竹田市負担額1,237,500円) ・受入ネットワーク構築業務委託 495,000円 ・地域通訳案内士育成等業務委託 1,980,000円 5. 広域連携による誘客対策 4,935,000円(竹田市負担額2,467,500円) ・台湾オンライン商談会 240,000円 ・JR九州連携スイッチオン!パンフレット作成業務委託 2,000,000円 ・海外プロモーション業務委託 550,000円 ・台湾オンラインFAMツアー業務委託 1,320,000円 ・公式ホームページ制作業務委託 825,000円								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果	地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる)							
今後の事業展開方針	事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または行った))							
上記の理由や特記事項	現在設定されているKPIの状況は、事業のアウトプット指標であるKPI「外国人対応可能施設数及びKPI「外国人向け滞在プログラム数」においては、目標値以上に推移できそうである。これは、順調に事業が推進されてきた成果であると考えている。 しかし、事業のアウトカム指標であるKPI「外国人宿泊客数」では、目標値に達成できていない。これは、新型コロナウイルス感染症の影響であり外的要因が大きい。新型コロナウイルス感染症は、世界各国にも広がり、外国人の入国制限措置等、コロナ禍において、特に訪日外国人旅行者をターゲットとした事業KPIであるため、KPIの達成が今のところ困難な見通しにある。そのためKPIについては、検証を進めR3年度に下方修正を検討している。 (KPI追加理由)本事業は、欧米豪などからの訪日外国人旅行者を受入れる体制をつくることで、上質な観光地とし、国内旅行者にも滞在できる観光地として選んでもらえるブランド力をつけることも目的の一つである。そのため、コロナの影響を考慮し、国内需要への掘り起こしや在日外国人をターゲットとして取り組むことで、コロナ収束後に向けた準備を行い、訪日外国人旅行者の誘客へと繋ぎたい。よって、国内もターゲットとした「国内宿泊客数」のKPIを追加し取り組むこととした。							

地方創生交付金関係個別実績表

地方創生推進交付金 (H31・R2)

No.	事業名	“日本最強の城”『岡城』10万人プロジェクト				所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	令和 1 年 8 月	～	終了	令和 4 年 3 月		
事業の概要(目的)								
<p>ピーク時には年間13万人を数えた竹田市最大の観光施設の一つである国指定史跡「岡城跡」の来場者数は、熊本・大分地震の影響もあり、現在は半分以下の6万人程度となってしまっており、竹田市全体の観光入込客数、及び、観光消費額の減少にも大きく影響している。</p> <p>そんな中、あらゆるお城の魅力に迫り、芸能界きっての城好きによって“最強の城”が選ばれる番組「あなたも絶対行きたくなる！日本“最強の城”スペシャル」(NHK / 5月3日放送)において、見事に「岡城」が“日本最強の城”に選定された。選定理由には、国内最大規模の“石垣の魅力”が挙げられているが、現在、その“石垣の魅力”をより浮き彫りにすべく、雑木の伐採作業が進められている。これと並行し、「岡城」が本来持つ魅力を深掘りし、きちんとガイドスできる環境整備に取り組み、それを発信していくことで年間来場者数10万人突破を目指す。また、城下町はじめ、市内各地域・各スポットへの周遊を促進し、市全体として観光振興・経済浮揚を図る。</p>								
継続または新規事業の別		新規		R2年度実績額(単位:円)		3,025,000円		
目 標 値								
本事業における重要業績評価指標(KPI)		事業開始前 (基準年: H31年度)	平成31年度増加分 (1年目)	平成32年度増加分 (2年目)	平成33年度増加分 (3年目)	平成34年度増加分 (4年目)	平成35年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	岡城 年間来場者数	60,000	6,000	15,000	25,000			46,000
KPI	岡城 入場券&城下町協賛店 共通クーポン券利用者数	0	6,600	1,200	2,400			10,200
KPI	岡城 公式サイトアクセス数	65,613	5,000	12,000	12,000			29,000
KPI								
実 績 値								
KPI	岡城 年間来場者数		16,356	-29,259				-12903
KPI	岡城 入場券&城下町協賛店 共通クーポン券利用者数		42	0				42
KPI	岡城 公式サイトアクセス数		10,379	70,028				80407
KPI								
R2年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
<p>1)「岡城」の本質的な魅力の再構築・コンテンツ化 城内ガイドス整備業務(委託料) 2,276,450円</p> <p>2)「岡城」の魅力の戦略的なプロモーション・集客 インスタフォトコンテスト(委託料) 499,400円 「岡城」公式サイトの管理・運用(委託料) 249,150円</p> <p>3)城下町の各施設、事業者と連携した周遊促進コンテンツの開発 中止 (コロナウイルスの感染拡大により、本市においても感染者が発生するといった状況の中、全体的な観光入込客数は前年の半分にまで落ち込んだ。市内のあらゆる行事やイベントも中止になり、全国のお城ファンをターゲットとする岡城への集客・プロモーションについて、積極的な取り組みが困難な状況であった。)</p>								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果		地方創生に効果があった(KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前身、改善したとみなせる)						
今後の事業展開方針		事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または行った))						
上記の理由や特記事項		<p>(KPIの実績を踏まえた事業の見直し)</p> <p>クーポン券の発行やリアルな集客に直結するプロモーションについては、コロナウイルスの状況や地域住民の受入体制等を見定めながら実施を判断する。</p> <p>公式サイトの運営については引き続き重点的に取り組み、オンライン上での岡城ファンの獲得、コロナ鎮静化後の集客につなげる。</p> <p>(事業の見直しの考え方)</p> <p>今年度は、トークイベントやクーポン券の発行といった集客・プロモーション事業、また、密を伴う空井戸の調査・研究事業が実施できなかった。今後も、コロナウイルスの状況次第で、リアルな集客に直結する取り組みは難しくなることが予想される。</p> <p>一方、サイトへのアクセス数は順調に伸びており、オンライン上で完結できるインスタフォトコンテストにも100名以上の参加があったことから、公式サイト及び公式SNS(facebook、Instagram)のコンテンツ充実、プロモーション強化に取り組む。</p>						

地方創生交付金関係個別実績表

地方創生推進交付金 (H31・R2・R3)

No.	事業名	地域資源(温泉・自然環境など)を組み合わせた健康療養地利活用推進事業				所管課	商工観光課	
事業実施期間		着手	令和 1 年 8 月	~	終了	令和 4 年 3 月		
事業の概要(目的)								
・健康寿命の延伸と医療費の削減のための健康増進プログラム提供の人材確保・法人化 健康増進プログラムの開発・提供を実施し、所得の安定化、人材のスキルアップを図る ・企業向け及び個人向け福利厚生・健康増進プログラムの開発・販促・情報発信 社会保障給付費の削減、B&G体育館などの施設利用者の増、観光客数の増 ・健康増進プログラムを活用した市民の健康寿命延伸と介護予防、運動習慣の定着化 社会保障給付費の削減、B&G体育館などの施設利用者の増、介護認定を受けていない高齢者の増								
継続または新規事業の別		継続		R2年度実績額(単位:円)		12,280,174円		
目 標 値								
本事業における重要業績評価指標(KPI)		事業開始前 (基準年:H31年度)	平成31年度増加分 (1年目)	平成32年度増加分 (2年目)	平成33年度増加分 (3年目)	平成34年度増加分 (4年目)	平成35年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI	B&G体育館における年間利用者数(人)	12,000	5,000	5,500	5,500			16,000
KPI	健康増進プログラム開発数(件)	1	3	4	4			11
KPI	健康増進プログラム利用数(件)	0	5	20	20			45
KPI								
実 績 値								
KPI	B&G体育館における年間利用者数(人)		6,000	-4,500				1,500
KPI	健康増進プログラム開発数(件)		3	2				5
KPI	健康増進プログラム利用数(件)		7	4				11
KPI								
R2年度事業実績の概要 (交付金事業終了後においては単独での取り組み状況)								
温泉利用型健康増進施設(連携型)の新たな事業展開 小計 8,917,480円 全国初の試みとなる温泉利用型健康増進施設(トライアングル型連携)による予防医療・健康増進の推進 (御前湯 B&G体育館 クアハウス) 有資格者派遣システムの構築 有資格者の確保(健康増進施設運営等業務) 5,398,800円 B&G体育館の利活用促進事業(B&Gトレーニングルーム管理業務) 3,518,680円 ヘルスツーリズム認証健康増進プログラム商品の開発・販促展開 小計 600,000円 「2018年度より始まった」ヘルスツーリズム認証」制度に基づく健康増進プログラム商品の開発と販促 B&G体育館を活用した健康増進プログラム開発 300,000円 湯中運動を取り入れた健康増進プログラム開発 300,000円 市民健康増進・予防活動の事業展開 小計 2,762,694円 湯中運動、健康運動教室などの運動習慣定着のための健康増進事業の実施 クアハウスを活用した湯中運動教室 1,781,714円 体育館等を活用した健康増進・予防教室 781,000円 自然環境を活用したウォーキングイベントの開催 199,980円								
実績値を踏まえた事業の今後について(所管課意見)								
地方創生への効果	地方創生に効果があった(KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前身、改善したとみなせる)							
今後の事業展開方針	事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または行った))							
上記の理由や特記事項	(KPIの実績を踏まえた事業の見直し) 対外的な集客が難しい中、ケーブルテレビや市報等でB&G体育館の周知を行い、温泉利用や運動を通じた免疫力の向上を呼びかけ、地域住民の利用頻度を高めることで利用者数の底上げに取り組む。 (事業の見直しの考え方) コロナウイルスの状況を見ながら、B&G体育館の全体的な利用促進を図れる体制を確立させておく。 施設利用や健康増進プログラムの提供、湯中運動、健康運動教室については、参加者の身元確認、及び、当日までの健康チェック等をしっかりとした上で実施。							